世界史探究

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選択	4	12	4	2

教　科　書	学習書・副教材等
世界史探究（東京書籍）	歴史風景観 世界史のミュージアム（とうほう）

学　習　目　標

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，歴史的な見方・考え方を働かせながら，課題を追求したり解決したりする活動を通し，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

学　習　内　容

・古代文明の出現/西アジアと地中海周辺/（第１回レポート）
・西アジアと地中海周辺/南アジア/（第２回レポート）
・東南アジア/東アジアと中央ユーラシア/アフリカ，オセアニア，古アメリカ/イスラーム世界の拡大と繁栄/（第３・４回レポート）　・中世ヨーロッパ/（第５回レポート）
・中華世界の変容とモンゴル帝国/インド洋海域世界の発展と東南アジア（第６回レポート）
以上，前期試験範囲
・大交易時代と世界の一体化/ユーラシア諸帝国の繁栄（第７回レポート）
・主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大/国民国家と近代社会の形成（第８回レポート）
・世界市場の形成とアジア諸国の変容/アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行第一次世界大戦の展開と諸地域の変容/（第９・10 回レポート）
・国際協調体制の動揺と第二次世界大戦/第二次世界大戦と戦後の東アジア/（第 11 回レポート）
・冷戦の世界化と国際制度/冷戦の変容・終結と経済のグローバル化/21 世紀の地球的課題と人類社会/21 世紀の地球的課題と世界史（第 12 回レポート）　以上，後期試験範囲

学　習　方　法

・レポート
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について諸資料から適切かつ効果的に調べまとめる技能や歴史的諸課題と現代とのつながりを考察し，その解決を視野に入れて構想する力を身につけ学んでいきます。教科書，資料集，補助プリントを最大限に活用し，地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら，歴史的な見方や考え方を身につけてください。また，世界史探究の講座はありませんが，NHK 高校講座の歴史総合，世界史などは，学習内容を理解する上で参考になると思いますので，視聴してみるのもよいでしょう。
・授業
レポートの内容に沿った，学習を補助するためのプリントを使用しスクーリング（授業）を進めます。教科書や資料集などだけではわからない様々な局面からレポートの内容を説明することがあるので，より深い理解を目指して積極的にスクーリングに参加しましょう。
レポート，教科書，資料集は必ず持参してください。遅刻，私語等は厳禁です。
・試験
レポートの内容から出題します。教科書や解答例などを参考に，しっかり学習しましょう。

評　価　規　準　と　評　価　方　法

・評価の方法は，レポートの評価，スクーリング出席状況，試験の成績を総合して評価します。目安としては，12 回のレポートすべての合格，スクーリングへの最低４時間の出席，２回の試験の平均が 30 点以上であることが単位認定の目安です。
・レポートの評価は次の観点から行います。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，基本的な事柄を理解するとともに，世界の歴史に関する諸資料を収集し，適切に選択してレポートを作成している。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，相互の関連や現代とのつながりなどに着目しながら多面的・多角的に考察し，レポートを作成している。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に，歴史的事象に対する関心と課題意識を高めながら主体的に探究し，レポートを作成している。

担　当　者　よ　り　一　言

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象に関する見方，考え方を深める探究活動により，日常生活の事象の捉え方がこれまでとは違ってくると思います。意欲的に学習に取り組みましょう。